

☆詩の種類 四つを覚えておけば安心です。

- ① 文語定型詩 ② 文語定型詩
③ 口語定型詩 ④ 口語自由詩

特に重要なのが①と④です。

※文語定型詩の例

落葉松 北原白秋

一

からまつの 林を過ぎて、
からまつを しみじみと見き。
からまつは さびしかりけり。
たびゆくは さびしかりけり。

文語とは、書き言葉だけに使う特別の言葉で、
硬い印象があります。

定型とは、音数に一定のきまりがあります。

例の詩は、五音・七音が繰り返されます。

※口語自由詩の例

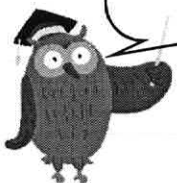
あいたくて 工藤直子

だれかに あいたくて
なにかに あいたくて
生まれてきた――
そんな気がするのだけれど

口語とは、日常で使われている話し言葉です。
自由詩とは、音数にとられない自由な形式
です。

基本事項をまとめました。

詩は教科書の最初と最後に必ず
登場します。種類と技法は
暗記しましょう。



☆詩の表現技法

比喩

あるものを他のものに例える表現技法。

●直喩法

「くのように」「くみみたいに」などを用いて例える
方法。

例 刃物のような冬が来た

●隠喩法

比喩であることを直接示さず、そのものの特徴
を説明する方法。

例 公孫樹の木も箒ほうきになった

●擬人法

人間以外のものを人間に例える方法。

例 虹がそつと足を下ろしたのを！

強調・変化

読者の印象を強めたり、変化をもたせたりして注
意を高める表現技法

●反復法

同じ語句を何度もくり返す方法。

例 かもめ かもめ 去りゆくかもめ

●倒置法

語順を入れ替えて注意を引く方法。

例 山路を登るバスの中で見たのだ、虹の足を。

●対句法

よく似たもの、反対のものなど、一対になる語句
を用いて対照的に表現する方法。

例 青い空 白い雲

●省略法

文末などを省略し、連想させる方法。

例 格別驚きもせず

幸福に生きていることが――

●体言止め

終わりに名詞(体言)を置き、強めたり、余韻を
残したりする方法。

例 人にいやがられる冬